



- ・行政に協力を得られれば解決できそうな課題を提案
- ・新たな公共サービスを提案
- ・多岐に及ぶ新たな地域課題に関する相談など

現在、めまぐるしい社会情勢の変化に伴い、自分一人の力では解決できない市民生活に関する新たな課題が増加しています。

このような中、こうした課題についてみんなで話し合う「対話の場」が求められています。本市では、地域の課題を把握し、その課題解決に向けて市民と協働で取り組む仕組みとして、まちのわ会議（協働ラウンドテーブル）による「対話の場」から始まる協働のまちづくりを推進しています。

具体的には、

**まちのわ会議から
地域課題の解決へ**



**コロナ禍での
地域活動を考えよう**



① 4月23日、東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の主催で、参加者が同じ目線で意見を交わす「まちのわ会議」が湖東コミュニティセンターで開催され、約40人が参加しました。

今回は、コロナ禍での新しい地

まちのわ会議（協働ラウンドテーブル）

**一歩踏み出す
勇気と
ヒントを得る**

このような取り組みによって、課題解決に向けた意見を出し合い、市民協働のまちづくりのきっかけとなることが期待されます。

①発表者4人からのコロナ禍での話題提供
②③意見が飛び交うグループワーク

まちのわ会議（協働ラウンドテーブル）の流れ



この日は、ジャズを通じて、音楽談義をした人、今までコミュニティセンターに足を運ぶことがなかった人など、さまざまな人が参加し、盛り上がりました。

この日は、ジャズを通じて、音楽談義をした人、今までコミュニティセンターに足を運ぶことがなかった人など、さまざまな人が参加し、盛り上がりました。



**まちのわ会議から
誕生したプロジェクト**



コロナ禍の今だからこそ

コロナ禍により地域の活動が制限される暮らしの中で、さまざまな地域課題が浮き彫りになったのではないだろうか。今回紹介した「まちのわ会議」は、そんな地域課題を解決するための手法の一つです。

コロナ禍で課題が見えてきた今こそ、皆さんも地域の発展や課題解決のために語り合い、思いを共有していただき、さらに市民と行政がタッグを組み、課題解決の糸口を見い出していただくと考えています。

本市とともに、まちのわ会議事務局を担う「まちづくりネット東近江」が地域の皆さんの取り組みをサポートします。まちづくりへの提案や課題をお気軽にお寄せください。

問まちづくり協働課
IP 050・5801・5623
FAX 0748・24・5560
取材：広報課 片山晴紀

域活動のあり方についての光が見えるよう、地域の取り組み事例から学び、考え、次に一歩を踏み出す勇気とヒントを得る場になればと開催されました。

まず、事例発表として、辰巳はる枝さん（北坂町）から、地域の見守りサロンでの取り組みについて、続いて藤澤彰祐さん（甲津畑町）は、ラチーノ学院と地域を結ぶ活動について発表されました。また、3人目の中嶋達也さん（勝堂町）から、コロナ禍でのコトナリエへの取り組みについて、最後に、田島宏さん（五個荘石馬寺町）は、地域と防災の観点からまちづくり協議会での取り組みについて、それぞれにコロナ禍での工夫を凝らした活動を紹介されました。

事例発表を終え、参加者は、もう少し聞きたい、話したいと思った発表者の周りに集まり、4つのグループに分かれて意見交換を行いました。意見交換では、自分たちの地域活動と比較したり、アドバイスをもらったりと、活発なグループワークが展開されました。

参加した青西保則さん（中一色町）は、「皆さんの熱い思いが感じられ、コロナ禍でも自分も何かやってみようという気持ちになりました」と力強く話しました。

課題解決に向けた話し合いの場を

東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会 委員長 小倉昌和さん



地域には、さまざまな課題があります。また、こんなことをしてみたいという思いもあります。しかし、一人では難しいことばかりです。そんな時は、誰かと思いを語り合い共有することで、課題の解決や、やりたいことにつながります。

そのためには、話し合いの場がとても大切です。ぜひ、地域の話し合いの場を私たちにコーディネートさせてください。これまでの経験をいかして、これからは皆さんの思いを多くの人に共感してもらえる場をつくっていきます。

認定特定非営利活動法人
**まちづくりネット
東近江**
東近江市八日市金屋2-6-25
IP 050-8036-0784
FAX 0748-56-1277
メール
info@e-ohminet.com



お気軽にお越しください